

(案)

本庄市一般廃棄物処理基本計画（本庄市食品ロス削減推進計画）（案）に対する意見と市の考え方

1. 意見等の募集期間：令和6年1月9日（火）～令和6年2月8日（木）
2. 意見等の受付人数： 2人 6件 （提出方法の内訳：郵送1人、電子メール1人）
3. 提出された意見及び市の考え方

（1）計画全般に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
1	-	本庄市のゴミ袋は値段が安すぎる気がします。このことも安易にゴミを出しやすくしている要因ではないでしょうか。ゴミ袋の価格が高ければ、無料で回収する資源ゴミへ回そうとする意識も芽生えます。ルールの変更には市民から反発があると思いますが、一方で市民の環境問題への認識も高まっています。市に率先してゴミ削減のための効果ある方法を進めていてもらいたいです。	ゴミ袋の指定や販売価格は自治体によって様々であり、本庄市、美里町、神川町及び上里町で構成する児玉郡市においては、分別意識の向上や円滑な収集を目的として、共通のゴミ袋「児玉郡市共通認定袋」による排出をお願いしております。児玉郡市共通認定袋の販売価格は製品自体の価格となっており、ゴミ処理手数料の上乗せ、いわゆる有料化は実施しておりません。 有料化につきましては、導入によりごみの排出量の減少が見込まれますが、一方で、ゴミ袋の価格が高くなることによって指定のゴミ袋を用いない違反排出が増加することも懸念されますので、今後、児玉郡市広域市町村圏組合及び構成市町で調査研究を進めて参ります。

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
2	-	一人当たりのゴミの排出量が埼玉県でワースト1位という事実は、本庄市で生まれ育った者としてとても悲しく、また恥ずかしいことです。この課題は、市民の環境問題への意識が低く啓蒙が必要、ということだけでは解決しない課題だと思います。排出ゴミの減少は、仕組みやルールで必ず実現できることだと考えます。	市では、家庭から排出される可燃ごみの約3割を占める生ごみの堆肥化の推進等によるごみの減量化や雑紙の回収等によるリサイクルの進展に取り組むとともに、引き続き市民・事業者の皆さまへの周知・啓発に努めていくことで、ごみ排出量の削減を進めて参ります。

(2) 第2編 市の概況及び廃棄物処理の現状 に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
3	54	計画案の54ページに、収集頻度が低いことなどから、資源物となるものも、可燃ごみや不燃ごみとして出されていることがあると書かれていました。計画案にも書かれている通り、資源ごみの回収頻度を上げること、回収場所を増やすことなど、市民が出すゴミを資源とするための工夫が不可欠です。またそのような小さな変更だけで、ゴミが減り資源が増えるのであれば、すぐに着手すべきです。	可燃ごみや不燃ごみへの資源物の混入は、市が解決すべき喫緊の課題と認識しております。 資源物の収集体制の拡充にあたりましては、収集日の見直しや排出スペースの確保など様々な課題もございますが、排出機会を増やすことについて検討を進め、本市におけるごみの資源化率を高めて参りたいと考えます。

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
4	57	57 ページの表 2-4-4 を見ると、ゴミを多く排出している市町村は、ゴミの分別種類が少ない自治体のように思えます。現在、全国の多くの自治体でプラスチックゴミのリサイクル化が当たり前になっていますが、児玉郡市では実施の目処がありません。他の市町村では資源となるプラスチックが、本庄市ではただのゴミとなっています。全て燃やしてしまった方がコストはかからないのかもしれませんが、環境への配慮、後の世代への責任、また教育的側面からしても、コストをかけてでもリサイクルできるものはした方がいいと思います。	プラスチックごみの回収につきましては、児玉郡市での同時実施について検討しておりますが、回収した後のごみの搬出先や運搬方法等の課題もあり、早期の実施が難しい状況でございます。 市といたしましては、将来的にプラスチックごみの分別収集を開始した際に適切に分別されるよう、まずは分別意識の醸成が必要と考えており、令和5年度から製品プラスチックの拠点回収及びイベント回収を開始しております。

(3) 第3編 一般廃棄物処理基本計画 に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
5	84	84 ページに分別の見直しについても触れられていますが、早急に検討していただきたいです。	いただいた意見を児玉郡市広域市町村圏組合及び構成市町で共有させていただき、収集方法等について検討を進めて参ります。

(4) 第4編 本庄市食品ロス削減推進計画 に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
6	106、 107	食品ロス削減に関する取組 P106 商品が欠品…許容する意識を持つ。 賞味期限を過ぎた商品であっても、すぐに食べられなくなるわけではないことを理解し、… P107 水切りを徹底 季節商品は予約制 家庭⇔スーパー 売上げだけに注目しない。仕入れを減らすとロスも減るのでは？ ☆半額シールはお得だし、ロスも減ります。 各スーパー年末のおせち、恵方巻き、あふれるほどありましたが、ロスしていませんか。これからは売り切れがあってもいいと考えます。	市では、消費スタイルの転換に向けた啓発の実施や食品ロス削減事例の発信などにより、市民、食品関連事業者等が食品ロスについての理解を深め、積極的に食品ロス削減に向けた行動に取り組んでいただけるよう努めて参ります。